

法遍寺 から大切な 皆様へ

2023年4月1日

日蓮正宗 年間方針

折伏躍動の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

僧俗一致・異体同心の
団結

年間実践テーマ

① 勤行・唱題の徹底で活動
の充実

自分自身が日々納得
のできる勤行・唱題を

② 破邪顕正の折伏で誓願
達成

御聖意を拝し、身軽法重
死身弘法の決意に立つ

③ 寺院参詣と登山推進で
人材育成

『金沢の抜け参り』のお
姿を忘れず寺院参詣・
御登山の推進を強化

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(電話番号：0561-54-9226)

相談無料 <https://hohenji.net/>



2023年3月5日 広布唱題会の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日頭上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ「正直なる仏法で人を導こう」

仏様の本意のことを「正直なる教え」といい、これは「妙法の教え」に尽きる。御書に「仏と申すは正直を本とす」(359頁)と示される通りである。真っ直ぐな信仰とは如何なる姿か。ことわざに「木、縄に従えばすなわち正し」とある。曲がった木も大工が墨縄を当てて削れば真っ直ぐになるように、人も他人の忠告や諫言を素直に心に入れ従えば正しくなる。大聖人は「曲がれる木は素直なる縄をにくみ、偽れる者は正しき政りごとをば心に合わずと思ふ」(御書1365頁)と仰せである。曲がった木とは、回曲(えごく)・法華不信であり、これは正直なる仏法を憎む。そして偽りに塗れた心は正しき行ないに賛同できないである。素直な心で大聖人の下種仏法を信受し、立正安国論を研鑽し、折伏を行動に起していこう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その32)

平成2年12月27日の臨時宗会において、宗規の一部が改正施行された。まず、法華講総講頭の任期につき5年とし、また大講頭その他の役員については従来の2年を3年と改め、附則によって、これまでの総講頭・大講頭の役にあつた者の資格は喪失したのであった。また、信徒の処分規定に新たに、「言論、文書等をもって、管長を批判し、または誹毀、讒謗したとき」という条項が加えられた。これは従来の僧侶への懲戒規定と同じ条項を信徒に対する懲戒規定にも当てがい明確にしたものであった。しかし、これは罰することが目的ではなく、罪を犯させないための規定である。ちなみに当時の創価学会の会則第67条には、会員に対する「戒告、活動停止、除名処分」の規定が設けられている。(次回 12月29日の学会からの返書)

③ 正しい仏教への信仰を知らない方へ(娑婆と寂光土の意味)

娑婆世界といえ、堪え忍ぶ世界のことで、我々が住する国土のことである。「貪欲・瞋恚・愚痴」が盛んで、「煩惱・業・苦」が充満しており、衆生はこれを忍ばなければならない。つぎに寂光土とは、仏が住む国土のことをいう。法華經の寿量品では、「仏の住処はこの苦惱の尽きない娑婆世界であり、仏の真実の心は、常にこの娑婆世界で説法教化をなすこと」と明き示す。日蓮大聖人は「浄土も穢土も、その国土が別々にあるわけではない。ただ我らの心の善悪によるのである」と教えている。苦難の世界をどう生きるかを教えるのが仏の心であり、日蓮大聖人の心である。他に極楽世界を求めるのではなく、娑婆世界に生きて仏道を歩む所に寂光土が顕われるのである。真の生き抜く力、人生の開花は妙法の信仰にある。